



浜田水産高校「同窓会会報」



〒697-0051

浜田市瀬戸ヶ島町25-3

TEL 0855-22-3098 Fax 0855-23-4811

E-mail hamasui-01@shimanet.ed.jp

H P <http://www.shimanet.jp/hamasui/>携帯HP <http://www.shimanet.jp/hamasui/keitai/>

## 会長あいさつ

浜水会会長 山崎 晃  
 浜水会員の皆様におかれましては、全国各地で日々ご活躍のこととお喜び申し上げます。平素は、母校及び同窓会「浜水会」の発展のため、物心両面へのご高配を頂き厚く御礼を申し上げます。



さて、平成29年度浜田水産高校は創立70周年を迎えました。学校では創立70周年記念事業推進委員会が設立され、浜水会に対して募金活動の協力依頼がありました。浜水会にとりましては、まさに激動の1年の始まりとなりました。

浜水会としましては、70周年記念事業として趣意書を作成し、20年ぶりとなる募金活動をさせて頂きました。①初代丸川久俊校長先生のモニュメントの贈呈②70周年記念誌③教育施設設備の整備④浜水会基金等に当てる募金活動です。70周年記念事業に併せて、会員名簿の発行にも取り掛かりました。

初代丸川久俊校長先生のモニュメントサインの経過について紹介します。平成24年10月28日の第18回関西浜水会の席上、5期生吉川五郎様が、丸川校長先生の銅像を浜田に作ったらどうだろうかとの提案をされました。突然のことなので事務局で対応できませんでしたが、私は浜水会の会長として本部へ持ち帰り、役員会で提案すると回答しました。

平成29年度が、創立70周年を迎えるということでだんだんと気運も高まり、役員会で協議を重ね学校内に設置することになりました。モニュメントサインは、校庭から階段を上った校舎と体育館の前に設置しました。前面には水高の校章、顔写真、業績、裏面には経歴を掲載しました。



丸川先生モニュメントサイン

10月27日(金)16時より関係者により、除幕式が開催されました。翌10月28日(土)は、待望の創立70周年記念式典が盛大に開催されました。私は式典の中で、70年の歩みと初代丸川校長先生を紹介しました。

会員名簿の発行は、会員の皆様のご協力もあり、順調に作業が進み、昨年11月に発行することが出来ました。

昨年1年間を振り返ってみますと、4月11日(火)に入学式があり、海洋技術科31名、食品流通科19名、専攻科9名が入学しました。7月9日(日)には、浜水会役員会を開催し、70周年記念事業の募金活動と会員名簿の発行が議題となりました。7月22日(土)は、第8回浜水会広島支部総会に、中村公一校長先生、長田暁史教諭と出席しました。

10月1日(日)は、第23回関西浜水会総会に、中村公一校長先生と出席しました。創立70周年記念式典・記念事業の概要や、丸川久俊校長先生のモニュメントサインの設置場所等について報告しました。実に5年の歳月がかかりましたが、校地内に設置が出来たことは大きな喜びです。前述しましたように、10月27日(金)は、関係者の参加のもと除幕式を挙行了しました。

10月28日(土)は、鴨木 朗島根県教育長様、久保田章市浜田市長様、大屋俊弘・岡本昭二・須山 隆県議会議員様他多数のご来賓のご臨席を頂き、盛大に開催されました。

11月26日(日)は、浜水会総会(3年に1回開催)をジョイプラザで開催しました。除幕式と70周年記念式典の映像を映し、式典の様子を紹介しました。

2月28日(水)は、浜水会入会式で挨拶をしました。3月1日(木)は、卒業証書並びに修了証書授与式がありました。本科39名、専攻科7名でした。

3月18日(日)は、第3回の浜水を語る会を開催しました。参加者は27名で、浜水高時代の思い出をおおいに語って頂きました。19期機関科卒業の新家浅夫さんは、在校生時代の野球部の思い出・浜水高野球部の活躍の状況・活躍された選手の名前をあげて、33分の熱弁で拍手喝采でした。私は、浜水高時代の話はやめて、70周年の歩みと丸川校長先生の紹介を約20分間にわたり話しました。会員の皆さんに除幕式と式典の様子をお知らせすることができ、浜水高を語る会となりました。

このように、平成29年度は、浜水会にとりまして大きな節目の1年であったように思います。

私は、浜田郷土民謡保存会の会長として、11月20日（月）、第20回郷土芸能体験学習「浜田民謡教室」を開催しました。母校に勤務してからの継続事業で節目の20年となりました。3年生の生徒諸君も浜田節男踊りに積極的に取り組んでいました。今後も毎年取り組んでいきたいと思えます。

2月24日の山陰中央新報に「浜田水産高校初の女性航海士」前田さん就職内定、津軽海峡フェリー操船へ、という記事が掲載されました。私を含め卒業生や浜田市民の皆さんの反響がありました。専攻科漁業科2年の前田麻美さん（20）は、浜田市弥栄町出身、海への憧れが決め手で浜水高へ進学する。高校3年生時に国家資格、三級海技士（航海）筆記試験に合格し専攻科で専門知識を得て、経験も積んできた。女性航海士は、全国的に珍しいという記事でした。

創立70周年記念事業の募金活動では、会員の皆様には大変お世話になりました。お陰で目標の300万円に達する状況となりました。

終わりに、浜田水産高校の益々の発展と会員の皆様のご多幸ご健勝を祈念いたしますと共に、浜水会発展のためいっそうのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。



70周年記念式典での山崎会長挨拶

**新たな未来へ向かって**

校長 中村 公一  
今年度を振り返ると印象に残ったことが2つありました。

1つは、平成29年10月28日に学校創立70周年記念式典を挙げてきたこと、さらに、記念事業の一環として、世界的に著名な海洋学者である初代校長である丸川久俊先生のモニュメントサインを制作および記念誌を発行できたことでした。特に先生のモニュメントサインは、同窓生の長年の願いでもあり、皆さんの思いは感慨深いものがあると推察いたします。

また、モニュメントサインを建立した場所は、先生が校長として長年、水産教育に尽力された湾頭高



き学び舎であり、毎日登下校する生徒達を温かく見守る場所でもある、校舎付近に植えられている桜の木々の傍らとしました。今後、在校生達が登下校するたびにモニュメントサインを見ることで志を高く持ち、学問をこよなく愛し、水産・海洋に興味を持ってくれることを切に願うものです。

2つめは、今後の水産教育に係ることで明るいニュースがありましたのでご紹介いたします。水産基本計画平成29年4月に改訂され、水産に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策の中で、海技士等の人材の育成・確保として、漁船漁業の乗組員不足に対応するため、水産高校等と連携して、計画的・安定的な人員採用を行う等、継続的な乗組員確保に努めるとあります。学校では、このことをチャンスと考え、今まで先輩方が築きあげてきた伝統を生かしつつ、教育内容を見直し、さらに発展できるよう検討を進めているところです。

本校の存在意義を常に考え、今の時代に対応した、あるいは時代をリードするような教育の実践を求めていかなければならないと考えています。

終わりに本校の次の10年、20年先に向けて生徒教職員一同が決意を新たにし学校生活を送って行く所存ですので、「浜水会」の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動に対するご理解とご支援をお願いいたします。

**平成29年度 浜水会役員会**

日時：平成29年7月9日 10:00～12:30

会場：浜田水産高校会議室

会長、副会長、顧問の3役をはじめ、理事、監査及び事務局17名の合計21名の参加により、平成29年度役員会を開催しました。

議事の概要は以下のとおりです。

**議題**

- ①平成28年度事業報告  
事務局より報告、承認されました。
- ②平成28年度決算・監査報告  
会計担当より同窓会会計及び名簿積立金会計の決算報告及び、会計監査より監査報告が行われ、承認されました。
- ③平成29年度事業計画（案）  
10月に開催予定の総会規模や、会員への総会に関する情報周知の方法について役員から質問があり、会長及び副会長より、想定される総会の規模及び、情報周知の方法（新聞への広告掲載、インターネットホームページへの掲載）について回答があり、承認されました。また、他の事業案については事務局からの提案どおり承認されました。
- ④平成29年度予算（案）  
会計担当より提案があり、承認されました。
- ⑤創立70周年記念事業  
・記念事業の準備状況（学校が行っているもの）

について事務局より報告がありました。

- 丸川久俊先生モニュメントサインの設置場所について検討し、校舎へ上がる階段の上部へ設置することに決定しました。細かな位置については学校へ一任するとしました。
- 記念誌の発行費用を浜水会が負担するため、発行業者の選定を行いました。見積もりをして頂いた3社のうち、最も安価であった土江明分社に決定しました。
- 事務局提案の募金事業趣意書及び要項について審議し、案のとおり承認されました。また、一口の金額は2,000円、募金目標金額400万円、募金機関は事務局一任と承認されました。

⑥新会員名簿発刊

- 発刊への進捗状況について事務局より報告がありました。
- 役員より、個人情報保護の観点から、名簿発行は現代にそぐわないのではないかとの意見がありました。会長より、名簿は会員相互を結ぶ重要なものであるため、取り扱いを厳重にすることを条件として了承して頂きたいとの回答があり、承認して頂きました。

⑦その他

- 本年は役員改選の年であり、総会において承認されなければならないが、会員名簿掲載に間に合わせるために、本会で役員案を承認してほしとの事務局からの提案が承認されました。

出席者

会長 山崎 晃(12F) 副会長 中村洋一(15F)  
顧問 吉中克吉(3F) 中村公一(校長：28F)  
監査 下谷輝幸(14P)

【理事】

江川 勝(12E) 佐藤美則(16P：松江支部長)  
前 滋(16P) 田中輝隆(17P：広島支部長)  
浜村尚登(20F) 江木 孝(20E) 米谷靖夫(27F)  
中村 實(25F) 川辺孝之(26P) 中田浩一(27F)  
原田俊二(28F) 畑 真由美(31P) 長田暁史(40E)  
山崎 淳(42F) 内藤博昭(52R)  
事務局：榎見健太(57K)

広島支部総会・懇親会

日時：平成29年7月22日(土) 12:00～16:00

会場：ホテルセンチュリー21 広島

議題

平成28年度会計・監査・行事報告・質疑応答その他

【参加者：浜水会より】

12F 山崎 晃(会長)  
28F 中村公一(校長)  
40E 長田暁史(浜水会事務局)

【参加者：会員(敬称略)】

8P 佐々木元弘 10P 佐々木 博  
10P 中川平介 11P 井上範昭 15P 島田秀男  
15P 西尾朝雄・橋岡茂徳 16P 河田英司

17P 田中輝隆 18P 岡本廣志・舛田 隆・  
19E 山本 治 24P 水野重敏 25F 野崎俊明  
26F 浅田 功



平成29年度広島支部総会

広島支部総会・懇親会も今回で8回目となりました。浜水会本部から3名が参加しましたが、本部にとっても年中行事の一つとなりました。

広島支部では総会の案内を往復ハガキで送ってくださるようですが、総会を欠席される会員の方より届いた返信には、近況を伝えるメッセージが記されているものがあるようです。総会資料にその一覧が掲載されており、広島支部会員の皆さんの様子をうかがい知ることが出来ます。よい機会なので一部を紹介いたします。(氏名はイニシャルにしました。)

・いつも連絡ありがとうございます。年々体力が落ちていきますが、年とか仕事も出来ております。役員の皆様によるしくお伝え下さい。

(24P H・K)

・いつも迷惑をかけております。毎年お呼び頂くのですが、小生釣クラブに入っておりまして大会にいつも会うので悪しからず。

(11P T・Y)

・いつもお世話を頂きありがとうございます。なにとぞよろしく願い致します。相変わらずボランティア三昧で元気をもらっております。

(6P M・M)

・総会・懇親会の案内を頂きありがとうございます。国内貨物船で機関長として頑張っております。都合がつくときは参加させていただきます。

(23E N・H)

・老人会集会やグランドゴルフ週3回等で過ごしていますが、体調が思わしくありません。

(6F M・T)

・遅くなり申し訳ございません。今年から通信で生看護師の学校へ通っており、学費もかかり課題も多く、7月に試験もあるので欠席させていただきます。

(55S Y・H)

・今年4月4日に機関科13期卒業、浜田で同窓会致しました。55年ぶりに会うことが出来た人もいました。学生時代の話に盛り上がりました。

(13E S・T)

**関西浜水会総会・懇親会**

日時：平成29年10月1日（日）11:00～14:00  
 会場：ニュー オオサカ ホテル  
 議題：会務報告・平成28年度会計報告・監査報告  
 役員改選・その他  
**【参加者：浜水会より】**  
 12F 山崎 晃（会長）  
 28F 中村公一（校長）  
**【参加者：会員（敬称略）】**  
 5P 吉川五郎 8P 濱田耕一・井上美智代  
 10E 佐々田 洋・島内清美・河野繁喜  
 10P 田野 博・井上稔義  
 11P 浦田準次・寺戸信吾・花見静夫・村長 剛  
 森藤須賀子  
 12F 寺戸正憲 13P 戸田氏懿・大木征二  
 13P 大畑賢二・藤沢敏子  
 16F 石橋克幸・中森 稔 16P 村上義幸  
 17P 白川克範 19P 田中裕章  
 20F 門脇和彦・門脇（夫人） 28P 小玉喜子  
 32F 長谷川清治 32E 江川達也 45S 谷岡和彦



第23回 関西浜水会・総会 於：ニュー オオサカ ホテル  
 平成29年度関西浜水会総会

阪神淡路大震災を契機に活動を開始した関西浜水会総会も23回を数えました。時が過ぎるのと共に関西浜水会も確かな歴史を刻んできたと感じます。毎度のことですが、本部から参加した人たちは、会員の皆さんの母校を思う気持ちと、総会における熱気を感じ、元気をもらって帰ってくるようです。次回の総会へは、事務局の若手にぜひ出席してもらい、関西浜水会会員の皆さんと楽しい一時を過ごし、元気をもらってきて欲しいと思います。

**浜水会総会・懇親会**

日時：平成29年11月26日（日）10:00～15:00  
 会場：オープンハート ジョイプラザ  
 52名の会員に出席して頂き、平成29年度浜水会総会を開催しました。総会終了後は懇親会を続けて行い、会員相互の親睦を深めました。  
 議事の概要は以下のとおりです。

**議題**

- ①平成26年度～28年度事業報告  
事務局から事業報告がされました。
- ②平成26年度～28年度決算報告  
事務局から同窓会会計（一般会計）及び、名簿積立金会計の決算報告がされました。
- ③平成29年度事業計画  
事務局提案どおり承認されました。
- ④平成29年度予算（案）  
同窓会会計及び、名簿積立金会計予算案が承認されました。
- ⑤創立70周年記念事業に関する経費  
次の諸経費について事務局より説明がされました。  
 ・丸川久俊校長先生モニュメントサインの作成費  
 ・モニュメントサイン周辺のガードパイプ設置に伴う経費（転落防止のため）  
 ・創立70周年記念募金事業（趣意書発送に係る経費）  
 ・モニュメントサイン除幕式に係る経費  
 ・創立70周年記念誌発行費用  
 ・創立70周年記念事業に関する経費の合計
- ⑥その他の経費  
創立70周年記念事業に直接関係のない次の諸経費について事務局より説明がされました。  
 ・浜水会総会の案内を新聞に掲載するための経費  
 ・同窓会名簿発行に伴う経費
- ⑦会則の改正  
平成27年6月28日の役員会で改正案が承認されましたが、会則の改正は総会で協議することとなっているため、今回の総会で提案し承認されました。（改正された会則についてのお問合せは事務局まで）

総会終了後引き続き懇親会を行いました。世代の異なる同窓生が一堂に会することで、新旧の親睦を深めることができました。新たな発見のある楽しい会になったと思います。次回は東京オリンピックの行われる平成32年の開催となります。皆さんぜひご参加下さい。



平成29年度浜水会総会・懇親会

**「浜水を語る会」**

期 日：平成30年3月18日（日）  
 時 間：第1部14:00～17:00  
 第2部17:30～20:00

会 場：オープンハート ジョイプラザ

**【参加者（敬称略）】**

- 3F 杉本祥太郎・吉中克吉
- 6F 驛田恭三 9E 奥原信行 9E 蔵上教幸
- 12F 山崎 晃 13F 江後泰治 13F 下間 勲
- 13F 平野 正 14P 下谷輝幸 15F 中村洋一
- 16P 前 滋 19E 新家浅夫 19P 岩川 清
- 19P 永田 泉 20F 釜江真二郎 20F 浜村尚登
- 25F 中村 實 27F 中田浩一 28F 中村公一
- 29F 山本省三 38F 竹内正行 40E 長田暁史
- 42F 山崎 淳 45K 江木勝義 51K 梅田純一
- 55K 日原和浩 57K 榭見健太

年に1度は会員が集う機会を持とうと始まった「浜水を語る会」も、今回で3回目となりました。在学中の懐かしい思い出や、卒業生として日々感じていることなどを、各人が思い思いに語る会です。回を重ねることで、浜水会事業として定着しつつあるのではないのでしょうか。出席した皆さんの「語り」に耳を傾けるのもなかなか面白いもので、語る人が過ぎた時代を自分の時代と比較しながら想像し、それぞれが素晴らしい時間を経てきたことに気づいたりします。皆さんの参加をお待ちしています。

巻頭の会長挨拶にも少し出ていますが、今回は新家浅夫さん（19E）が野球部の思い出について語られました。新家さんは、浜水野球部が夏の予選で西中国大会の決勝戦に進出した、昭和42年当時の野球部員です。その頃の練習の厳しさや、部員たちの様子が生き生きと語られ、とても興味深く聞くことが出来ました。個人的な話ですが、私は浜水野球部が西中国大会を戦っていた頃、小学校の低学年でした。テレビで中継された試合を、ワクワクしながら見ていたことを覚えています。紛れもなく、このときが私にとって浜田水産高校との初めての出会いでした。



第3回浜水を語る会

**創立70周年記念事業**

**丸川久俊先生モニュメントサイン除幕式**

平成28年11月26日の臨時役員会において、浜水会をあげて丸川久俊先生モニュメントサイン作成に取り組むことが決まりました。以後業者及び設置場所の選定を経て、平成29年10月27日（金）に除幕式を迎えました。当日は丸川先生の御令孫、丸川 章氏に序幕テープを引いて頂く予定でしたが、急病のため残念ながら欠席されました。代役として広島支部の中川平介氏（10P）にお願いし、無事除幕式を終えることが出来ました。今年の春は、校舎前の桜に並んで立つモニュメントサインに、桜花が映えてとてもきれいでした。



除幕式出席者による記念撮影

**創立70周年記念式典**

平成29年10月28日（土）、来賓として島根県教育長嶋木 朗様、浜田市長久保田章市様、島根県議会議員岡本昭二様始め、多くの方々のご臨席のもと、創立70周年記念式典が浜田水産高校体育館で行われました。浜水会からは山崎会長が代表として、挨拶と丸川久俊先生の紹介をしました。



来賓の皆様

寄稿

初代校長、丸川久俊先生の顕彰碑について  
中川平介（昭和35年水産製造科卒）

この度、山崎晃同窓会長、並びに関係者のご尽力により浜田水産高校創立70周年の式典前日の平成29年10月27日、浜田水産高校の玄関横で初代校長、丸川久俊先生の顕彰碑の除幕式が学校関係者、卒業生、生徒代表の参加によって行われました。丸川先生がお亡くなりになってから半世紀が経過していますが、先生の海洋学に関する業績は今も色あせることなく生きております。先生がお亡くなりになった昭和33年は私が在学中でその前後には練習船、若潮丸の完成、校歌の制定がありました。丸川先生の顕彰碑が後輩、生徒の刺激となり誇りに感じていただければ幸いです。顕彰碑の完成に至る経緯について個人的な記憶も含めて紹介します。



在りし日の丸川先生

丸川先生がお住まいの同じ町内の港町に私も住まいしており、お名前と業績の一端は中学時代より聞き及んでおりました。先生にお目にかかっている筈ですが記憶にはありません。先生のお孫さんで、私より4歳年下の丸川和久氏とは、小学校時代の短期間ながら共に遊んだことがありました。丸川先生の顕彰碑の資料収集に取り掛かった際には既に鬼籍に入っておられました。山崎会長を通じて和久氏の弟の章氏から、丸川先生の業績、経歴などの提供をいただきました。章氏は祖父の丸川先生の顕彰碑の除幕式へ列席予定でしたが、急病で果たせず、水産高校70周年記念日での章氏の祝辞は中川が代読しました。

丸川先生の顕彰碑の建立については、過去にも数度提案されたことがありました。平成27年に開催されました浜田水産高校同窓会の関西支部総会で、第5期水産製造科卒業の吉川氏より顕彰碑建立の提案がありました。水産高校の70周年記念も間近であり、後述の丸川先生の業績の収集完了などもあり、これを建立の好機と考え、顕彰碑の見積もりを添えて山崎同窓会長に提案しました。当初丸川先生の胸像を考えて、写真を探しましたが、見当たらず、水産高校校長室に掲げてある写真を基に記念碑の作成に落ち着きました。設置につきましては島根県、浜田水産高校の承認をいただき、資金面の解決に努力されました山崎同窓会長、関係各位にお礼申し上げます。

私の中学時代は現水産高校校庭の南側下に住んでおり、水産高校付近の海には水泳や釣をしに頻繁に出かけておりました。当時の校庭の片隅に横たわっ

ていた廃船に「丸川丸」の船名があり、「右から読んでも、左から読んでも丸川丸」と言いながら眺めておりました。

広島大学入学後、講義、実験、実習で丸川先生の業績に触れる度、誇らしく感じておりました。広島大学に奉職して、丸川先生の業績を記録に残したいとの思いから、論文、著書を収集しておりました。丸川先生の専門分野の海洋学、浮遊生物学、環境学は私の専門とは接点がなかったため、先生の専門分野の資料を網羅できるか不安を抱きつつ、古書店へ問合せ、学会誌、世界の生物学分野の論文検索誌Biological Abstractで検索を開始しました。収集した資料の全ては私が退職した際に水産高校へ寄付しました。かつて丸川先生の資料のことで母校を訪れたことがありました。木箱に丸川先生の論文別刷などの資料数点がありましたが、参考にはならず、手を付けず学校を辞したことがありました。

その後、何らの手がかりもなく時間が経過しましたが、平成27年、大学の先輩で元日本プランクトン学会長、遠部卓広島大学名誉教授より、丸川先生の件で連絡がありました。遠部名誉教授のもとに米国の元ワシントン大学海洋学部デービッド・ダンカー博士（David M. Damkaer）が世界のプランクトン研究者の伝記を纏める中で日本のこの分野の開拓者である丸川先生の業績収集への協力依頼がありました。



右から読んでも左から読んでも「丸川丸」

丸川先生の文献収集、和文論文の英訳を通じてダンカー博士に協力するため、情報が欲しいとの依頼でした。丸川先生の業績収集が頓挫しておりました矢先の要請であったため快諾し、資料収集のため遠部名誉教授を二度浜田に案内しました。浜田では元島根県水産技術センター漁業生産部長の森脇晋平博士の協力も得て資料を収集しました。浜田市役所、鏡山のジェンナー先生頌徳碑近くの基督教墓地にある丸川先生の墓（先生ご一家の墓は東京に移され、今は墓標のみ）、丸川先生の遠縁の元島根県水産試験場長児島俊平博士宅、浜田水産高校、島根県水産研究センターを訪ねました。児島氏宅では、昭和天皇の浜田ご行幸の際に丸川先生がご進講に用いられた日本海の地図を拝見することができました。遠部名誉

教授による記録は石見郷土史研究懇話会の「郷土石見」に「浜田訪問記－丸川久俊の足跡を探る－」と題して掲載されました。丸川先生の記事掲載にささやかながら協力できたことを喜んでおります。「郷土石見」に掲載された丸川先生の記事は、先生の母校の現東京海洋大学学長、並びに関係者に送付し、また石見郷土史研究懇話会の許可を得て東京海洋大学同窓会誌「楽水」にも転載されました。

丸川先生のドイツ留学に刺激され、自分も留学は英語圏よりもドイツ圏と決めてドイツ語を勉強しておりました。しかし、自分の専攻分野の研究がドイツ語圏には少なかったため、フランス留学を目指してフランス語の習得に切り替えました。幸いにもフランス政府給費生試験を経てマルセイユの海洋研究所で1年間甲殻類の研究に携わることができました。

参考文献

Damkaer, D.M. (2002): The copepodologist's Cabinet: The biographical and bibliographical history. Vol. 3, American Philosophical Society, Philadelphia.

(印刷中)

遠部卓 (2016) : 浜田訪問記－丸川久俊(1882～1958)の足跡を探る－。郷土石見。2pp. 102巻。石見郷土史研究懇話会。柏村印刷、浜田。

遠部卓 (2017) : 丸川久俊(1882～1958)の足跡を探る。浜田訪問記。「楽水」。41pp. 857巻、楽水会東京

浜田市教育委員会編 (2000) : 浜田の人物ものがたり。第1集、16pp. 柏村印刷、浜田。

浜田市教育委員会編 (2016) : 浜田市の人物読本 ふるさとの50人。176pp. 浜田。

丸川先生をしのぶ会編 (1968) : 丸川先生をしのぶ。V+77pp. 丸川先生をしのぶ会、浜田水産高校。

宇田道隆 (2005) : 海洋研究発達史。Xi-331pp. 東海大出版、東京。

山崎克彦 (1989) : 水産学の権威・丸川久俊、69-77. 石見人物記。佐々木印刷、浜田。

山崎克彦 (2000) : 丸川久俊、8-16. 市制60周年記念、浜田人物史。佐々木印刷、浜田。(平成30年4月)

丸川先生に関する以下の記事を望まれる方は、中川様までメールアドレスをお知らせすれば、送付して頂けるということです。

ただし、個人情報保護のため中川様の連絡先等は本紙には掲載しません。同窓会名簿に掲載された中川様住所へ直接連絡頂くか、あるいは事務局まで連絡頂ければ、中川様の許可を得た上でこちらからお知らせ致します。ご了承下さい。

遠部卓 (2016) :

浜田訪問記－丸川久俊 (1882～1958) の足跡を探る－。郷土石見。2pp、102巻。石見郷土研究懇話会。柏村印刷、浜田。

創立70周年記念募金事業

創立70周年記念募金事業並びに行事への経費拠出のため、昨年8月より今年2月末日まで募金事業を行って参りました。会員の皆様のご協力ももちまして、目標金額にほぼ達することが出来ました。事務局よりお礼申し上げます。

決算が全て終了したわけではありませんが、3月23日現在の途中経過を、下記のとおりお知らせ致します。

【収入】

募金 (494名及び1団体より) ¥2,821,370

【支出】

項目	金額
モニュメントサイン作成費	¥675,432
モニュメントサイン周辺整備費	¥223,992
募金趣意書発送費	¥661,531
除幕式に係る経費	¥13,176
創立70周年記念誌発行費用	¥518,832
合計	¥2,092,963

【残高】

¥2,821,370(収入)－¥2,092,963(支出)＝¥728,407  
残高は当初の計画通り、浜田水産高校教育設備の拡充と、同窓会の基金に充てさせていただきます。

平成29年度学校の様子

平成29年度入学式：4月11日(火)  
海洋技術科31名、食品流通科19名、専攻科9名が入学し、新たな学校生活が始まりました。



海洋技術科3年トビウオ刺し網漁業実習5月23日  
初夏の日本海は気持ち良いです。



体育祭：9月2日（土）



水高祭：10月28日（土）・29日（日）



郷土芸能体験：11月29日（水）



島根ふるさとフェア2018：1月20日（土）・21日（日）



課題研究発表会：1月31日（水）



卒業式3月1日（木）



海洋技術科23名、食品流通科16名、専攻科7名  
合計46名が社会へと巣立っていきました。

部活動の活躍



弓道部 中国大会県予選  
男子団体優勝

カッター部 全国カッターレース大会 三位入賞



弓道部 佐々木知典選手  
島根県国体少年男子として中国ブロック予選出場し、優勝に貢献

**後記** 昨年は翠香を発行することが出来ませんでした。同窓会事務局として大変申し訳なく思っております。今年度は何とか発行することが出来ましたが、多忙な公務の合間を見ながらの作成で、皆様に満足して頂ける出来とはとても言えませんが、どうかご容赦下さい。（事務局）